

国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会

【事務局】〒105-0012 東京都港区芝大門 2-4-5-904 (Arts Plus 内)

Phone 03-5472-3072 Fax 03-3438-2229 Email ypraha@mac.com

<http://www.youngpraha.jp>

平成 20 年 12 月 10 日発行

国際音楽祭ヤング・プラハ 2008

国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会
運営委員 岩崎 淑

6 年ぶりにプラハの空港に降りた時、なつかしさがこみあげてきた。私にとってプラハは忘れがたい思い出がいっぱいある。アカデミアプラハ木管五重奏団との協演旅行と「プラハの春」への出演、そして弟 洸とのリサイタルなど。そして 6 年前にはヤング・プラハ国際音楽祭にバイオリニスト神尾真由子さんがドボルザークホールでドボルザークの協奏曲を弾かれるということでミラノから聴きにきた。

今年も丁度イタリアのヴァルセニアムジカ国際コンクールの審査をした直後ミラノから直行した。私が推薦した佐

藤彦大さんが 9 月 11 日にやはりドボルザークホールで演奏するということだったので、本当に嬉しい訪問だった。当日はリハーサルの時から聴かせていただいたが、明るくさわやかな初々しさのあふれた青年だった。本番ではロマンティックな表現力と基礎のしっかりしたテクニックでシューマンの協奏曲を演奏、弾いていく内に熱のこもったまさに情熱あふれる弾きぶりで聴衆を感動させた。たまたまとともに坐ったチェコのピアノ教師もブラボーといわれ、何度もステージにアンコールされ花束の手を高くあげて彦大君も喜びを表していた。自然な音楽の流れは人柄そのもので屈たくのない弾くのが楽しくてたまらないという風情、実に将来の活躍が楽しみである。



コンサートの前日プラハ城の見える丘や時計台の広場にも足を運びドボルザーク、スメタナの眠るお墓にもいくことが出来、思い出一杯の 3 日間だった。今年の日本人の演奏家は、佐藤君の他にフルートの阿部礼奈さんとハーブの高野麗音さんだった。中島良史先生、フィンダ志保子さん、安東和民さん、チェコに留学中のピアノの高居有佳里さんにはお世話になりました。



国立チェコ銀行ホールにて



ドヴォジャークホールでの最終公演



ドヴォジャークホールでの最終公演後にピアノの佐藤彦大と筆者

ヤング・プラハ 17 歳！

国際音楽祭ヤング。プラハ日本実行委員会
代表 中島良史

2008 年、第 17 回のヤング・プラハが無事終了いたしました。今年も各国の若者たちに世界遺産プラハでの活躍の場を提供でき大変幸せです。ご支援、ご協力を賜ったすべての皆様に深く感謝申し上げます。

日本からもまた 3 人の期待の新人が素晴らしいプラハデビューを果たし、また合唱団も各地で大成功を博しました。躍動の様子をご覧ください。彼らも先輩たち同様、近い将来には第一線で活躍する音楽家に成長していくことを確信いたします。

さて 1992 に生まれ、育ってヤング・プラハもいよいよ成人間近。あと 3 年でいよいよ 20 歳に到達。自他共に認められるゆるぎない音楽祭の地位を獲得いたします。しかし今は運営と財政的基盤がようやく固まりかけのまだまだ不安定な若者。時折りしも世界経済危機…！文化活動に及ぼす影響は計り知れません。そんな不安を乗り越えて実行委員会一同、来年の開催に向け努力していく所存です。なにとぞ皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。



●●での演奏会で出演の東京ヤング・プラハ合唱団と指揮の●●森内剛。

【音楽祭のスケジュール】

8/23 日本大使館での演奏会

8/25 テプリツェ

8/26 プラハ(ヴィラ・ベルトラムカ)

8/27 プラハ(ウォレンスタイン宮殿庭園)

8/28 プラハ(在プラハ・日本人学校)

8/29 ヘジマヌーフ・ムニェステツ

8/30 スルプスカー カメニツェ

9/1 テプリツェ (St. Jan Křtitel Church)

9/3 バド・シャングウ - St. Johanniskirche

9/4 プラハ(チェコ国立銀行ホール)

9/7 リトミシュル(キャッスルシアター)

9/8 プルゼニュ (Západočeské muzeum)

9/9 プラハ(ウォレンスタイン宮殿)

9/11 プラハ(ドヴォジャークホール)



ドヴォジャークホールでの最終公演にて、プラハ室内管弦楽団との共演を終えた佐藤彦大(中央)、指揮者として出演の Evan Rogister(アメリカ)。



チェコ国立銀行ホールでの演奏後に花をもらう高野麗音(ハープ)と阿部礼奈(フルート)。

今年の招待出演者より

第17回国際音楽祭ヤング・プラハを振り返って

佐藤彦大 (ピアノ)

自分の人生上初の音楽祭、そして初の単身渡欧。正直、ワクワクよりも不安の方が大きかった。そしてプラハに到着後、プログラムを見て自分がこの音楽祭の締めなのだと知った時、その不安はさらに大きくなった。というのもこの音楽祭の1、2ヶ月ほど前から精神的に不安定で、何でもマイナス方向に捕らえてしまっていたからだ。

結論から言えば、この音楽祭は僕が立ち直る非常に効く薬となった。プルゼーニュでの演奏会で日本とは全く違う音響・拍手に感動し、少し自身を取り戻す。そして楽しい



ヴォレンスタイン宮殿庭園でのヤング・プラハ室内合奏団の演奏会。



街角に貼られたヤング・プラハのポスター。

楽しいオーケストラとの合わせを経てのフィナーレは課題が残ったものの、最高に気持ち良かった。

プラハの空気・町・音楽・ホール、そして勿論食べ物も...全てが新鮮で心地良かった。今ではこの町が教えてくれた「言葉で表せない感覚」が僕に元気と、音楽をする事の喜びを常に与えてくれる。今回の経験を糧により成長出来れば、と思う。

御世話になった全ての皆様に感謝致します、有難うございました。

今年の日本からの出演者



高野麗音 (ハープ)
現在はパリ国立高等音楽院
に在学中。



阿部礼奈 (フルート)
東京芸術大学音楽学部器楽
科卒業。現在スイス●●



佐藤彦大 (ピアノ)
東京音楽大学器楽専攻3年
在学中。



東京ヤング・プラハ合唱団東
国立音楽大の生徒を中心とし
たメンバー。指揮は森内 剛。

チェコのあたたかさにふれて

高野麗音（ハープ）

今年の夏は、素晴らしい演奏会の機会をいただくと共に、また一つ今まで足を踏み入れたことのなかった国を訪れることができ、とても良い思い出の夏となりました。

私は2008年の夏の時点で、フランスに3年間在住していましたが、フランスではなかなかスメタナやドヴォルザークの曲に触れることがなく、またフランスとチェコでは人々の音楽に対する考え方や、観客の姿勢もまったく違っていただのでなにもかも新鮮に感じました。

地方公演に行っても、毎回満員のお客様が楽しみにしていただき、チェコの暖かさ、そしてこれまでにこの音楽祭が築いて来たものを感じることができました。

また、私と、フルートの阿部さんはペンションに泊まらせていただいたのですが、ここがペンションというよりもホームステイのような感じで、ペンションのご家族が本当に親切でした。地方のコンサートの時に車で連れて行ってくれださり、コンサートを聴いてくださったり、最後のコンチェルトの際には花束までいただきました。

またゆっくりと観光できる時にもう一度チェコを訪ねたいと思います。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださり、音楽祭を運営して下さった実行委員の皆様には感謝の気持ちをお伝えしたいです。

【事務局より速報！】2008年11月のパリ シテデザール国際ハープコンクールで、高野麗音さんは1位なしの2位を受賞されました。おめでとうございます！



●●にてリハーサルにのぞむ高野麗音。



●●前での東京ヤング・プラハ合唱団員。

第17回国際音楽祭ヤング・プラハが終わって

森内 剛（指揮）

昨年9月の始めに、プラハにいらっしゃった音楽祭実行委員長の中島良史先生から「合唱団がいないとやっぱり寂しい」という一通のメールが届きました。その気持ちが通じたのか、今回は自分の知る過去9年間で最大の22人というメンバーが合唱団として参加、そして自分がその合唱団を指揮してチェコ各地を回るという使命を果たせたことを誇りに思います。

大所帯ならではの良さや問題点を抱えながらも最後までやりとおした合唱団、また共演して下さったソリストの皆さんとの演奏は忘れ得ないものとなりましたし、現地プラハ入りしてから我々合唱団が文字通り「同じ釜の飯」を食べられるようご配慮くださったフルーティストのフィンダさんご夫妻をはじめ、日本、チェコ双方の各実行委員の皆様には感謝してもし切れません。

チェコ各地、特に地方都市で演奏すると、現地の皆様から「ぜひ来年も」とお声を掛けていただきますが「来年も来ますよ。また聴いてくださいね」と本気で言っているのは自分だけでしょうか...?それが自分だけでないことを、実行委員会、若いソリスト達、合唱団、ヤング・プラハに携わる全ての人々が証明して下さることを心から願っています。

チェコ実行委員会より

チェコ実行委員会
Tomáš Čisteký(トマーシュ・チステツキー)
Norbert Heller(ノルベルト・ヘルレル)
フィンダ 志保子

今年も準備期間を含め音楽祭全日程無事に滞りなく終わり、チェコ実行委員一同ただただホッとしています。

8月23日、熊澤前大使と協賛各社への感謝の気持ちを込めて、日本大使館近くにある Vabřinec(ヴァブジネツ) 教会にての演奏会から始まりました。この演奏会では会長のヨゼフ・スーク氏自らを始めとして、実行委員他の演奏で日頃のお礼を演奏に托しました。

昨年から本祭期間を夏休みが終わった9月に持ってきたことでより沢山の観客に恵まれ、年々更に多くの人々が来場してくれることは大変有り難く成功だったと思っています。

今年のヤング・プラハ始まって以来の試みとしましては、今までの出演国とは少々志向を変えベトナムからのピアノ



中島先生自らが指揮をなさった東京ヤング・プラハ合唱団(スタンislav・フィンダ共演)

ストを招待したことは、聴衆にとっても大変興味深いことでした。室内楽コースに2名の日本人留学生も加わりチェコ人の学生達と一緒に演奏したことは、プラハで日頃勉強している日本人留学生にとって有意義なことだったことでしょう。今後もこういった機会をどんどん持ってもらえるように工夫していきたいと思っています。

ヤング・プラハに出演したことをきっかけに、その後更にキャリアを積んで世界の舞台で活躍する方が増えてきていることは非常に嬉しいことで、現地で実行する我々にとっての励みにもなります。最近ではヤング・プラハの趣旨を理解して応援してくださる協賛各社も増えてきましたことに、この紙面を借りまして心よりお礼を申し上げます。これからも20周年、25周年・・・に向けまして、更に充実した音楽祭になりますようにチェコ実行委員一同努力していきたいと思っておりますので、今後共どうぞよろしくお願い致します。

最後になりましたが、皆様にとって素敵なクリスマスと年末年始になりますように、寒いプラハよりお祈りいたしております。

Přejeme vám hezké vánoce a šťastný nový rok!!



チェコ実行委員会会長のスークさんと実行委員のヘルレルさんの共演



在チェコ日本大使公邸での前熊澤前大使からの心遣い



コステツキー先生息子さんご夫妻と中島先生

駐日チェコ大使館でのコンサート & レセプション (2008 年 11 月 7 日)



今年の音楽祭でも活躍したピアノの佐藤彦大も演奏。

チェコ・センター所長、ホリーさんがいつものようにユーモア溢れた挨拶をする。

「私がヤング・プラハのお手伝いを始めたのはもう 15 年も前のことです。まだ学生で、体重も半分ぐらいでスリムだったんですよ。でも重たいものを運ばされて、こき使われました、...」。チェコ大使館コンサートはヤング・プラハの年度を締める恒例の行事である。ヤング・プラハを支援してくださるスポンサーの方々、支援組織ヤング・プラハ・フレンズの皆様方、実行委員や関係者、そして常連の音楽愛好家で会場は早々と定員を超えてしまう。その熱気のなか、今年の本祭フィナーレでトリの重責を見事に果たした佐藤君がバッハ、ショパン、ドビュッシー、リストと幅広い作品を見事な解釈で弾きあげ、聴衆からホーとタメ息が洩れ



ピアノの佐藤彦大、岩崎 淑、フルートとピッコロを演奏したスタニスラフ・フィンダ

る。日本とチェコ、両国の音楽界の大御所、岩崎淑さんとフィンダさんがベンダ、ドボルジャーク、ヤナーチェク、グリーンを息の合った演奏で聴かせてくれる。これから巣立つ若者へのはなむけのプレゼントである。

演奏が終わり、会場はビールとスナックで音楽仲間の挨拶と会話で盛り上がる。実行委員は「今年も無事終了!」と顔を見合わせニッコリ笑う。【国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会 運営委員・安東和民】



駐日チェコ大使館のノヴォトニー全権大使とチェコセンター所長ベトル・ホリー氏(国際音楽祭ヤング・プラハ特別顧問)による演奏会前のスピーチ

ヤング・プラハ・フレンズ

●「ヤング・プラハ・フレンズ」ご入会 / 更新のお願い
「ヤング・プラハ・フレンズ」は国際音楽祭ヤング・プラハの活動を通して若い優秀な演奏家の成長を支援しています。

ヤング・プラハを経験した若い演奏家たちは、ヴァイオリンの神尾真由子(2001 年参加)、ピアノの上原彩子(2002 年参加)、ピアノのジュゼッペ・アンダローロ(2005 年参加)をはじめ世界の名だたるコンクールでも活躍し、ヤング・プラハでの経験を糧にますます芸術の高みを目指しています。

国際音楽祭ヤング・プラハは実行委員のボランティアによって運営されていますが、昨今のチェコの物価高騰などにより運営資金を常に必要としています。ヤング・プラハは、非営利団体として多くのボランティアによって支えられ、1992 年より 1 年も休まずに音楽祭を続けています。円滑

な音楽祭運営のため、毎年のご支援をお願いいたします。

また、お知り合いの方々にご入会をお誘いいただきたく、ご協力よろしくをお願いいたします。(入会お申込はホームページからでもできます。)

また 2009 年からは、ご支援者皆様に感謝を表して、ご支援者名を音楽祭プログラムに印刷させていただきます。

フレンズの種類	年会費(1~12月)
個人会員	—□ 10,000 円
家族会員(個人会員のご家族)	—□ 5,000 円
法人会員	—□ 30,000 円
特別会員 (ヤング・プラハ出演者、出演から 5 年間のみ)	3,000 円以上 但し、初年度無料

口座名義：国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会
郵便振替口座 00100-7-615037
銀行振込口座 三菱東京 UFJ 銀行 浜松町支店
普通預金 4547275